



Alma Mater SAPIENTIA

Vol.17
Mar.18.2002

発行：英知大学同窓会
〒661-8530
兵庫県尼崎市若王寺2-18-1
発行責任者：野村 裕
編集：英知大学同窓会

- 大学の改革を求め・・・1
- 卒業生に贈ることば・・・4
- これからの英知大学・・・7
- 卒業生の皆さまへ・・・2
- 連続で公開討論会・・・4
- 学内企業研究会・・・7
- 同窓会の皆様へ・・・2
- 同窓会事務局より・・・5
- これからの英知に期待する事・・・8
- 卒業記念品・・・2
- ホームカミングデーに出席して・・・5
- TOEICスコアアップ講座・・・8
- The Child father of the Man・・・3
- これからの英知大学・・・6
- 編集後記・・・8

『大学の改革を求め』

会長 野村裕



早春の候、ここにてめでたくご卒業を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。また、永年のご苦勞を感謝し保護者の方々にも心よりお祝、申し上げます。

卒業生の方々には、同窓会への正会員としての入会を力強く思い心より歓迎の意を表します。

さて今日より厳しい社会に出ていかれるわけですが、世界情勢的には多発テロの影響が残存し日本社会ではデフレスバイラル、構造改革等による経済不安定及び現状の変革を強く問われ、中国経済の台頭による国内(日本)空洞化が現実的になり、最も強かった銀行の組織をも揺るがす流れになって来ております。

教育界の改革も公立高校に民間出資者を登用し、学校変革へ積極的に取り組む各地で学校を良くしたいという意欲・気運が高まっております。大学もしかり、少子化及び大学が選択される時代になり各大学で変革の動きが激しくなっております。

ります。その中で「学校改革は、トップダウンで実施するもの。校長(学長)で学校が変わると思うのはリリーダシップというものを履き違えている。学校を変えるのは、校長(学長)ではなく、現場の第一線に立つ教職員である。校長(学長)は、現場がうまく機能するように手助けをするのが仕事で、校長(学長)が張り切っても、教職員にやる気がなければ改革は進まない。これは、企業人としての経験があるからいえることかもしれない。」「学校の運営も企業の経営も同じ」というベースはあると思います。「企業を変える主役は現場で働く一線の社員であつて、社長ではない。社員のボトムアップで出て来た改革の提言を社長の方針に合わせて実現させるのが指導者の役割である。」「現場の先生は教育者(研究者)としてプライド、そして経験がある。それを無視して学校を変えることは不可能である。何回も現場と話し込みを重ね、本音が出てきて初めて改革への着手ができるものです。」「少子化や他大学との競争を考えると、志望者の開拓に受け身の体制ではまずいという危機意識が現場の教職員に芽生えその力を改革へのパワーへと結び付けることが必要と考えます。」「生徒(学生)は顧客である」という信念が必要ではないでしょうか。企業の繁栄に顧客の支持が欠かせないように、学校も生徒(学生)の満足度を高め

る努力なくしては成り立たない。生徒(学生)の求める満足度は多様です。」「大学は、人間形成、研究、就職と将来の進路を求める最終学府であります。学生が押し付けでなく、自分の意志で進路を決め、実現に向かつて努力できる手助けを最大限することが学校の使命であり、学校の満足度を高める要素になるものと思ひます。

現代の大学生は、自分の意志で決めることが出来ない人間が多いと聞きます。その上でも、先生が一方的に話をして、学生は聞き役になるのではなく、自分が何をやりたいか学生の側が分かっている場合を理解し、自分がどういう人間か、進路や意志の決定を自分でさせるよう助言や手助けをすることにより、主役は学生で教職員は引立て役に徹することが、悲しいかな現代の大学に問われていることではないでしょうか。

学校も他の組織運営と同じですが、教職員と学生という現場の主役がやる気になる仕組み作りが成功の力ギではないでしょうか。

新学期(四月)からは、大学の経営スタッフ(常務理事及び学長)も替わられ、「新たな英知の創造」への挑戦とお聞きしております。同窓会も、変革には全面的に協力は惜しまず、共に発展する様努力を積み重ねて参りたいと思っております。会員ご一同の益々の「ご協力」と「ご支援」を賜わりたく切に希望するものです。(参考資料) 日経シリーズ教育 都立高島高校校長 内田睦夫談引用

推進に不向きな要素を多く抱えており、さらに大学が消滅するような事態を未だかつて経験したことがなかったために、あらためて確認しなければならぬのです。

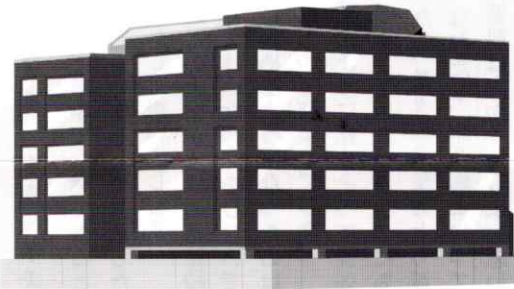
ところで、同窓生の皆さんは、それぞれの場でご活躍でございます。第二の人生の設計図を具体化させ集大成へ向かわれている方も多いことでしょう。かつてこの会報でも述べさせていただきましたが、この困難で大変革の時にこそ後輩のため英知大学の発展のためお力を発揮されてはいかがでしょうか。

ピーター・F・ドラッカーがその著書『プロフェッショナルの条件』の「自己実現の挑戦」の中で「第二の人生をどうするかについて述べていることも、かつての会報で述べました。第一には文字どおり第二の人生をもつこと、新しいことに挑戦することであり、第二には二つ目の仕事(パラレル・キャリア)を持つことである」と。ボランティアとかNPOで働くなどの本業以外にもう一つ別の世界を持つことが大切であります。

自己実現は企業で毎日あくせく働く中ではなかなか難しいことかも知れません。このことをドラッカーは示唆し、ある日突

然踏み切るのではなく、事前に助走期間を経て設計図を具体化させるべきであると述べています。

同窓会役員の皆さんは、厳しく困難な社会情勢の中、ご自分のことだけでも大変な時に、本当にボランティア精神を発揮し努力されていることに感服いたします。今後は、改革を進める大学にとって、ますます多くの同窓生の協力が必要となります。多くの力を結集し英知大学のために発揮されることを期待して止みません。



「学内・企業研究会」を、開催致しました。

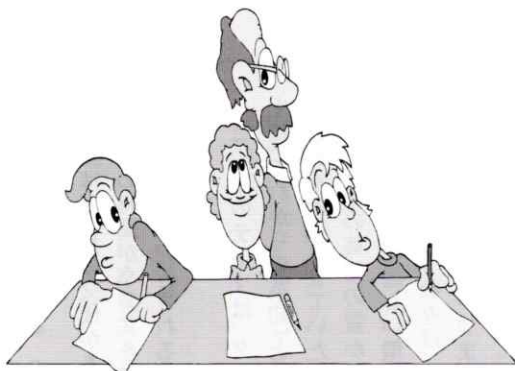
就職部主催・同窓会後援

日時 14年2月9日 会場 学生会館 1F・2F
PM:2.00~5.00

学 長	岸 英 司 教授
学 長 補 佐	井 勢 健 三 教授
英語英文学科長	井 田 規 文 教授
仏語仏文学科	ジャック・ジョリ教授
国際文化学科	羅 東 耀 助 教授
同窓会会長	野村 裕 <small>大丸興業株式会社 大阪金属部副部長</small>

参 加 企 業 一 覧	業 種
アビバグループ	教育サービス業
大阪府警察本部	地方公務員
(株)大阪めいらく	食品製造販売業
オージー・ロイヤル(株)	外食産業
(株)キャッツ	環境衛生サービス業
キリンホテル開発(株)	ホテル業
ホテル「ホップイン」アミング	
(株)クラブツーリズム	観光旅行業
近畿日本ツーリストグループ	
住友生命保険相互会社	生命保険業
総合警備保障(株)	警備警護サービス業
大福信用金庫	金融業
大丸興業(株)	総合商社卸業
大和工商リース(株)	総合リース業
日本エスリード(株)	不動産業
NOVAグループ	教育サービス業
(株)引越社関西	引越しサービス業
兵庫日産モーター(株)	自動車販売
(株)三城	眼鏡製造販売
(株)レリアン	アパレル
レンタルのニッケン	レンタル業
ユー・エス・ジェイ	テーマパーク業

(敬称略)以上、20社様のご協力を頂きました。



これからの英知に期待する事

78 仏文卒 関東支部 永森 孝夫

デフレスパイラルの真只中で財布の紐をしつかり締めたまま、買いたいものもしばらくは我慢している、という状況ではないでしょうか。

一方では四月から始まるペイオフのため、本来なら動かさなくてもよい預金を利息が悪くなるのにもかかわらず大きな銀行へ預け替えを考慮しておられるのでしょうか。今迄は国がやってくれる事をそのまま受け入れていれば恙無く暮らせたのに今は八方塞になっていて不満ばかり感じていませんか？

二十一世紀の日本は「当てがい扶持」を待つのではなく、自分で考え自分の責任でそれを実行する。この発想が育てば自ずと日本の問題点が見えてくるので、日本の民主主義が定着するチャンスをお待ちしています。

さて岸学長、私が在籍していた時期も含め長きに渡り大学のためにご尽力され本当にお疲れ様でした。

私事になりますが一九七六年フランスのアンジェに一年間留学した時、通常であれば入学時期の関係で卒業がさらに一年遅れるところをディプロムさえ取

得できれば半年で卒業できると約束をもらい安心して渡仏した事を懐かしく思い出します。

後にこの大学が英知の姉妹校になりよけいな心配をしないで勉学に励めるようになったのは後輩にとつて何よりでした。

上述のように私にとつて英知では希望していたフランスにもいけたし、数々の先生方とも親しくなれたし、また何といつても授業料は安かったしよい思い出の方が多くですね。

これからの英知に対する希望は卒業した時に私のように満足感が不満を上回る教育をするのと同時にホームページや大学案内等で受験生にその事をはっきりと表現すべきだと思います。

今は新しい分野を開拓するのではなく、手持ちの得意分野を深耕し今よりも更に大学が小さくなつたとしてもこれだけは英知をおいて他にない。というものを創つて下さい。時間はかかるでしょうがこれをする事によって同窓会も活発になつて行くものと確信するものです。同窓会はいつても大学の発展を期待すると共に、いつでも協力できる準備をしております。

準備をしております。

「TOEIC講座・TOEIC TESTを学内で受けてみませんか」

問合せ先

国際言語教育
センターまで
TEL 06-6491-8599
FAX 06-6491-5433



「学内 TOEIC 講座」

- 第12回 TOEIC スコアアップ講座 (15,000円/1人)
5月27日～6月20日 (月曜・木曜の週2回14:40~16:40)
夏 期 TOEIC インテンシブ講座 (14,000円/1人)
7月29日～8月2日 (5日間10:00~13:00)
第13回 TOEIC スコアアップ講座 (15,000円/1人)
11月11日～12月5日 (月曜・木曜の週2回14:40~16:40)

「TOEIC TEST」(4,500円/1人)

- 第21回 TOEIC TEST 4月27日 (土)
第22回 TOEIC TEST 6月22日 (土)
第23回 TOEIC TEST 8月3日 (土)
第24回 TOEIC TEST 12月7日 (土)

在學生もOB・OG
も英語力を
ブラッシュアップ!

編集後記

今回は、学長の交代があり、その交代の時期が卒業式をはさんだこの会報が発行される時と重なりました。

この号のテーマは、タイムリに『これからの英知』と言う事で原稿を依頼させていただきました。現代の英知の置かれていた立場は非常に厳しい環境にあると思われまふ。我々は、自分達の巣立つた母校がいつまでも健全経営で、大きく育つてゆく事を望んでいます。

新しい体制のもとで、同窓会も含めて、どんな大学にしたいのか？どんな大学が求められているのかを考えてゆかねばと思えます。

どうぞ、いつまでも無関心でなく、ひとりの力は、小さいものかも知れませんが、かたまりとなれば、大きな力を発揮するものです。

どんな参加の仕方でも結構です力を貸して下さい。!

副会長 藤本 滝三 73 西文科卒

お詫び 国際文化科学科科長の松本教授とは、連絡が取れず原稿を回収する事が出来ませんでしたので次号にて掲載させていただきます。